

鶴舞通信

2017年（平成29年）
7月31日（月）



絆 KIZUNA

第45号

発行所
日本福祉大学中央福祉専門学校同窓会

事務局
名古屋市中区千代田 3-27-11
TEL 052-339-0200
FAX 052-339-0201
E-mail : chuo@ml.n-fukushi.ac.jp
http : //www.netnfu.ne.jp/kizuna/

「鶴舞通信」は同窓会ホームページでもご覧いただけます。

2017年度同窓会総会／懇親会のご案内

2017年度日本福祉大学中央福祉専門学校同窓会総会及び懇親会を、以下のとおり開催いたします。皆様お誘い合わせでご出席ください。総会の議事につきましては、2ページに掲載しておりますので、ご覧ください。研究奨励論文発表は3件を予定しております。

続く懇親会は、会員相互の交流と親睦を図るため、立食パーティ形式で行います。教員も参加を予定しております。懐かしい友人や恩師との再会、ここで広がる新しい人脈、年に一度のこの機会にぜひお越しください！

ご出席が叶わない方にも、同封のハガキで近況報告をいただけますと幸いです。

■日時	2017年9月2日(土)
■受付開始	13:30～
■研究奨励論文発表	14:00～14:50
■総会	15:00～15:30
■懇親会	15:40～17:30
■会場	日本福祉大学中央福祉専門学校 〒460-0012 名古屋市中区千代田3-27-11
■懇親会費	無料



◎愛知、三重、静岡、岐阜以外の各都道府県から総会・懇親会に参加される会員には、交通費として5,000円を補助いたします。

◎お子様連れの方も歓迎いたします！

【総会の議事】

- 第1号議案：2016年度決算・事業報告
- 第2号議案：2017年度予算・事業計画
- 第3号議案：2017～2018年度同窓会役員の選出

ご出欠の連絡を同封のハガキで8月25日までに返信ください。

なお、ご欠席の方は、ハガキの委任状欄をご記入の上ご返信ください。

●総会は、委任状を含め会員の1割以上で成立となりますので、ご協力をお願いします。

● ● ● 同窓会だより ● ● ●

2017年度日本福祉大学中央福祉専門学校同窓会総会議案書

(第1号議案)

(第2号議案)

(2017年9月2日(土)開催)

2016年度収支決算及び事業報告

2017年度収支予算及び事業計画

[収入の部]

細目	2016年度予算	決算	事業内容
前年度繰越金	6,794,028	6,794,028	
今年度収入	1,581,000	1,490,047	
会費収入	1,380,000	1,290,000	10,000円×129名(K63名、Y45名、G21名)
C C S助成金	200,000	200,000	※出金手続き3/30、入金4/6
総会懇親会参加費	0	0	
預金利息	1,000	47	
合計	8,375,028	8,284,075	▲90,953

[収入の部]

細目	2017年度予算	事業内容
前年度繰越金	5,727,924	
今年度収入	1,520,050	
会費収入	1,320,000	10,000円×141名(K57名、Y48名、G27名)
C C S助成金	200,000	
総会懇親会参加費	0	
預金利息	50	
合計	7,247,974	

[支出の部]

細目	2016年度予算	決算	事業内容
会報発行事業	940,000	908,344	44号発行(年1回発行)
会報44号印刷費	600,000	586,440	印刷代・発送委託料
封入・発送費	330,000	321,904	郵送料
取材費	10,000	0	会報取材費
総会開催費	300,000	246,294	2016年9月3日(土)開催
懇親会等	250,000	231,294	同日懇親会開催
総会参加交通費補助	50,000	15,000	5000円×3名
研究奨励事業	230,000	65,800	
奨励金・旅費	200,000	65,800	共同研究5万円、個人研究2万円
論文印刷費	30,000	0	
ホームページ運営事業	50,000	0	ホームページ改修
ホームページ管理費	50,000	0	
同窓会員交流費	600,000	380,122	
交流援助金	300,000	276,000	交流会経費補助1グループ3万円程度～(1人3,000円)
福祉健康祭り	300,000	104,122	綿菓子ポップコーン提供経費、映画上映会開催、会員協力者懇親会
同窓会員/準会員援助事業	720,000	686,704	
研修事業補助	200,000	114,906	11/19藤田保健衛生大学病院見学3/12グループホーム「くわのみ」見学
教材・学習資料補助	100,000	129,858	夜間・介護国試対策教材、言語聴覚士科STサブリ利用料
教育機器充実補助	100,000	109,386	教室貸出プロジェクト、OHC購入補助
新入生歓迎・謝恩会補助	220,000	192,270	
卒業記念品等	100,000	140,284	図書室ブックラック(¥40,284)、学募ノベルティメモ帳(¥100,000)寄贈
幹事会経費	200,000	219,350	幹事会4回開催、福祉健康祭(学校祭)
懇親会	90,000	96,750	幹事会懇親会
事務費	30,000	21,600	幹事会出欠葉書等
交通費	80,000	101,000	距離に応じ定額支給(4回開催)、福祉健康祭(学校祭)
事務経費	115,000	49,537	
事務用品費	10,000	0	
封筒等印刷費	50,000	0	
郵送料	40,000	36,500	総会出欠葉書受取人払料金(切手代)
雑費・手数料	15,000	13,037	振込手数料、熊本地震災義援金(¥7,799)
今年度支出	3,155,000	2,556,151	
次年度繰越金	5,220,028	5,727,924	
合計	8,375,028	8,284,075	

[支出の部]

細目	2017年度予算	事業内容
会報発行事業	940,000	45号発行(年1回発行)
印刷費	600,000	印刷代・発送委託料(12Pフルカラー)
封入・発送費	330,000	送料(¥70×4,400)等
取材費	10,000	会報取材費
総会開催費	280,000	2017年9月2日(土)開催
懇親会等	230,000	同日懇親会開催
総会参加交通費補助	50,000	5,000円×10名
研究奨励事業	160,000	
奨励金・旅費	150,000	共同研究(5万円)2点、個人研究(2万円)3点+旅費
論文印刷費	10,000	
ホームページ運営事業	50,000	
ホームページ管理費	50,000	リニューアルサイトのメンテナンス必要時
同窓会員交流費	600,000	
交流援助金	300,000	同期会、地域交流会経費補助(1グループ1名あたり3,000円)
福祉健康祭り	300,000	福祉健康祭参加にかかる経費(特別講演会、もてなし企画等)
同窓会員/準会員援助事業	600,000	
研修事業補助	150,000	研修事業補助(施設等の見学)×2コース(従来型・言語聴覚士)
教材・学習資料補助	100,000	各学科に対して30,000円程度
教育機器充実補助	50,000	*国家試験対策等
新入生歓迎・謝恩会補助	200,000	教育に必要な機器購入の協力負担
卒業記念品等	100,000	各学科の新入生歓迎会・謝恩会(卒業会)開催補助
		学募ノベルティ制作協力(卒業生記念品は2016年度分まで製作済)
幹事会経費	225,000	幹事会6回開催、福祉健康祭
懇親会	100,000	幹事会懇親会
事務費	25,000	開催案内通知郵送料等
交通費	100,000	距離に応じ定額支給(5回分)
事務経費	105,000	
事務用品費	10,000	
封筒等印刷費	30,000	
郵送料	50,000	総会出欠葉書受取人払料金(切手代)
雑費・手数料	15,000	振り込み手数料等
今年度支出	2,960,000	
次年度繰越金	4,287,974	
合計	7,247,974	

同窓会研修事業実施報告① ～2016年11月19日(土) 藤田保健衛生大学病院～

同窓会では卒業支援・交流の新たな試みとして、言語聴覚士分野の研修を企画しました。私たちを受け入れてくださったのは、救急医療や大規模災害時の地域医療など、幅広い取り組みを続ける藤田保健衛生大学病院（愛知県豊明市）。日本福祉大学と藤田保健衛生大学が包括協定を締結していることも後押しし、初めての言語聴覚士分野研修は、とても充実したものとなりました。参加者の感想レポートをお読みください。



最先端の摂食嚥下リハビリテーションが行われる藤田保健衛生大学病院の研修に参加しました。PT・OT領域のリハビリテーションも見学する機会があり、患者様への負荷を出来るだけ最小限にするためにロボットが最大限の能力を発揮する訓練も、大変興味深いものでした。ゲーム的な要素があり、楽しみながらできるため、自発性の向上や心理的な負担の軽減につながると感じました。



そして、今回のメインテーマである嚥下動態を4次元で捉える320列A D C Tを用いた研究、取り組みについて、稲本陽子先生に御講義をいただけたことがとても印象的でした。4次元に嚥下動態を観察することで問題点を明瞭かつ的確に検出し、正確な診断を行うことが出来ますし、患者様やご家族、他職種の医療スタッフも理解しやすく、様々な場面で活用できそうです。

もちろん、フィジカルアセスメントにより嚥下機能を把握することも大切だと思います。今後、一般の医療現場でもC Tによる嚥下評価が可能になれば、フィジカルアセスメントでの評価と照らし合わせ、主観的評価のスキルアップにも繋がるのではと考えます。普段では経験のできない、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

5期生 佐伯恵理さん

今回の見学ツアーは臨床1年目の自分にとって大変貴重な機会となりました。

リハビリ部の広いスペースには患者様やセラピストの熱気で溢れていました。特に印象に残っているのは、稲本先生による嚥下C Tの解説や研究紹介でした。器官の動きや左右差を数値として見られるなど、初めて観察できた動態・事実には終始驚きました。リハビリ中の経時的変化や安全性を鮮明に分析できるという点でも、今後の嚥下C Tの研究には注目したいです。

また、リハロボットのようない新しい技術が臨床へ多く導入されていました。その様子を目の辺りにし、多くの患者様や御家族様の希望となっているのを感じました。研究の成果を生活へ還元すること、リハビリを患者様のメンタル面でも無理なく継続していただくことが大切だと改めて考えました。

見学の後は、先輩方との美味しいランチで情報交換もでき、同窓会の企画だからこそ良い体験ができたのだと思いました。とても面白かったです。

6期生 西谷将成さん



同窓会研修事業実施報告② ～2017年2月11日(土) 『くわのみ』～

副会長 生田 満



日によっては春の訪れを感じさせる2月中旬、同窓会「定番」とも言える『くわのみ見学ツアー』を実施しました。行き先となる東濃の恵那・岩村は、出発地の名古屋とは違い、近づくにつれて雪深くなっていきました。

名古屋とは寒さの違うJR恵那駅に降り立ち、まず向かったのは標高900mを超える根ノ上高原にある「あかまんまロッジ」。ここでいただく、豊富な品数が嬉しい手作りランチも研修ツアーの目玉の一つになってい

ます。ロッジオーナーの赤尾さんは経営の傍ら、この地を訪れる人たちを高原に案内し、一年を通じて根ノ上の魅力を発信し続けています。根ノ上高原で赤尾さんに出会った人は、皆さん根ノ上を大好きになって帰っていくでしょう。

ロッジを後にすると、いよいよ研修先のグループホーム「くわのみ」を目指します。道中には城下町の面影を残す岩村の市街地があり、時間が許せばこの街並みも歩いてみたくなるものです。

2005年5月に職員10名のグループホームから始まったこじんまりした施設ですが、年々事業を展開しており、現在は訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所、看護小規模多機能ホームなどを擁するまでに発展し、職員の数も10倍の70名になりました。この「くわのみ」は代表取締役の繁澤正彦先生（中央福祉専門学校専任教員）がバリバリの辣腕経営を奮ってきたのかと思いきや、「とにかく地域に根差した事業を心がけてきました。いろいろな方々とのつながりもできて、施設は存続・発展してきたんですよ」とのこと。立派なピザ窯が設置された中庭も、地域の方々と協力して整備したものだそうです。



研修には介護や福祉現場で活躍する同窓会会員に加え、社会福祉士科で学ぶ学生も参加し、今回も賑やかな一日となりました。今年の同窓会研修事業は、言語聴覚士という新たな分野にも着手できました。今後は多様性、多職種連携などにも留意し、研修事業を継続・充実していきたいと思っています。

2017年度も秋に言語聴覚士分野、2月中下旬に「くわのみ」を同じ行程で訪ねる計画しています。「くわのみ」はJR鶴舞駅に9時20分集合、解散は17時15分を予定。全体スケジュールに合えば、途中の合流と解散も可能です。会員及び準会員（在学生）の会費は1,000円で、そのお子様は未就学児まで無料。小学生以上は1,000円といたします。昼食や研修中は託児対応も可能です。言語聴覚士分野の研修企画については計画中です。いずれも具体化しましたら同窓会ホームページなどを通じてご案内します。

交流事業実施報告1 ～2016年8月6日(土) 上前津～

同窓会幹事・坂川紗莉



2016年8月6日(土)、学科・年代に関わらず11名の“ごちゃまぜ”の有志メンバーが福祉健康祭の後に集まりました。お忙しい中にも関わらず、今回の企画にご参加くださった(巻き込まれた!?)皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

普段は同世代・同年代、同じ職場やクラスでないとなかなか集まる機会もないのですが、それらを超えた多種多様なメンバーが、福祉健康祭や資格・仕事の情報交換、職場でのお悩み相談に子育ての話と、多種多

様な話題にお互い熱中してしまいました。

学科や年代は違えど、日本福祉大学中央福祉専門学校という故郷はみな同じ。時には、こんな“ごちゃまぜ(多様性)”の交流会もいいのではないのでしょうか。

また大学には、ホームカミングデイ(年に一度、卒業生を母校にお迎えする日)があると先輩から教えてもらいましたが、福祉健康祭が、“日本福祉大学中央福祉専門学校のホームカミングデイ”の日になれば素敵ではないのでしょうか。

福祉の現場でも“多職種連携”の重要性が言われていますが、今回の交流会はまさしく“多職種連携の場”であったように思います。

また、私事にて恐縮ですが、初産を控えた者としては不安・疑問もある中、子育てや妊娠と仕事の両立の話を聞いたのがとてもありがたかったです。

この記事を読んで、“ごちゃまぜって面白そうだな”と思われましたそのあなた!!ぜひとも、次回の福祉健康祭にご参加ください。また機会を持てたらと思います。

交流事業実施報告2 ～2016年10月1日(土) 金山～

介護福祉士科24期生(212K) 坂川紗莉

秋の気配を感じる9月上旬、24期生15名の有志が金山にある世界の山ちゃんに集合しました。当日まで誰が来るのか、はっきりとわからないどころか、幹事(言い出しっぺ)が誰なのかさえ、知らなかった状況下でのスタートとなりました。中心となってくださいましたTNYトリオ様、お疲れ様でした。

そんな状況での同窓会も楽しいもので、ワクワク感があり、お互いの近況報告、在学中の話、気になるあの人は何してる?といった話題で盛り上がりました。

「まるで学生時代に戻ったよう、タイムスリップしたよう」という声が聞こえてきました。

様々な変化と、以前と変わらない懐かしい感じとが入り混じった同窓会。ただ、私個人で良かったとホッとしたのは、出席された皆さんの表情が明るかったこと。卒業後、様々な状況を経て、時に大変で辛いこともあったり、思い通りにいかないこともあったり、転職をした方もいる。

それでもこの15名がこの日に集い、言葉を交わせたということは、それぞれの状況下で各自



が何らかの形で乗り越えたり、上手く付き合っただけでここまで来ているってことだから、それなりに幸せってことでしょうか。幸せが一番ですね。今回、参加されていない24期生の皆さんもそれなりに幸せですか？お互いに、身体だけは壊さない様に、ぼちぼちやっていきましょう！！

交流事業実施報告3 ～2016年12月17日(土) 金山～

介護福祉士科7期生（95K） 佐々木雄一郎



私たち介護福祉士科7期生は、今年卒業して20年、多くの卒業生は40歳を迎える節目の年でもあります。多くの卒業生が介護保険事業に関わる私たちにとってはこの記念すべき年に同窓会を企画しました。

年末の忙しい時期に重なってしまったこともあり、参加者は30名弱と少なかったことは残念でしたが、集まる事のできた同窓生は、旧交を温めあい二十歳の時に戻れた時間でした。キャリア20年の同窓生の多くはそれぞれの職場で責任ある立場で働き、結婚・子育て

を経験した女性たちからは、一時仕事を離れたけれども、現在は介護福祉士として働いているという声を多く聞くことができました。また、仕事の話以外にも、懐かしい思い出話や現在の生活の話など、話題は尽きませんでした。

次回は、25年、45歳の節目で会いましょうと約束し、楽しいひと時は終わりました。

この度、私たちの同窓会に補助金を拠出していただきましたことを感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

交流事業実施報告4 ～2017年3月28日(火) 名古屋駅前～

介護福祉士科27期生（15K） 筒井裕二

今回の交流会は、昨年度卒業したピカピカの卒業生が新年会、出産祝い、誕生会を兼ねて開催しました。在学中の彦坂先生クラスと森先生クラスの混合で、在学時からの仲良し組や就職してから交流を持った8名が集まりました。前記の通り、出産した者もいれば、日本福祉大学へ編入し就職活動や社会福祉士国家試験を意識しだした者、残念ながら？退職した者、介護職を頑張っている者と、一年経つだけでそれぞれ変化もありました。交流会では、仕事で自分の理想とする介護と現実とのギャップや介護技術についての悩みを話し合い、施設が異なるからこそできるアドバイスも出てきました。大学編入生は、社会人経験のある元訓練生に相談したりと、とてもためになる交流会でした。お酒が入ってくると、恋愛相談や人間関係の相談も出てくることもありましたが、和気あいあいと交流を深めることが出来ました。今後も続けていきたいと思えます。



皆さんの楽しいひとときが伝わりますね！交流支援制度については次ページをご覧ください。

懐かしい同窓生の集まりを支援します!!

同窓会では、会員の集まりに対する援助制度を運用しています。卒業から間もない仲間同士の近況報告会、ベテランとして活躍中の先輩たちの交流会など、幅広く活用されています。この制度によって、会員の皆さんがお仕事からプライベートまで、より充実した日々を送ってくださることを期待しています。

■**援助対象**：同期ごと、地域ごとの同窓会員の懇親会等

■**援助額**：原則10名程度以上の卒業生の集まりに対して一人3,000円相当額。

一つの会合の援助は60,000円を上限とします。

※申請順に受け付けます。申請数が予算を超過した場合、その時点で打ち切りま
す。また、参加者数が10名を下回る場合は別途ご相談ください（学科や予算の
状況に応じて検討します）。

■**手続き**：同窓会ホームページの「会員届出～申請書」コーナーから「交流会援助金申請書」
をダウンロードして記入・提出してください。懇親会の開催後、メンバーの集合
写真等、参加人数や開催の様子が分かる画像と400字程度の開催報告記事をメール
添付でご提出ください。援助金は振込にて支給いたします。また、提出いただいた
画像と報告記事は同窓会報次号に掲載します。ご不明な点は、同窓会事務局に
お問い合わせください。（連絡・問い合わせ先は1ページ上の囲みに記載）

～支援制度利用Q & A～

Q：メンバーに先生や同窓生ではない人が含まれると申請できないの？

A：卒業後は交友関係も広がりますよね。会合に同窓生以外の方が含まれても構いません
が、残念ながら支援対象は本校同窓生の参加人数になります。援助金を活用して、他
の方の会費も少しお安くしてあげられたらいいですね！

Q：集まりたいけど同級生の連絡先が分かりません。同窓会は教えてくれますか？

A：まったく不可能ではありませんが、個人情報保護の観点から即答はできません。同窓
会事務局からご本人に照会して了承がいただければお教えすることも可能です。ただ
し、転居等により現住所が不明なままとなっている同窓生もいるため、同窓生すべての
連絡先を把握してはおりません。また、学年全体の名簿等、大量の照会
は対応が困難ですのでご遠慮ください。Facebook や LINE など SNS も活用いた
だき、ぜひ皆さんで連絡先を共有し、企画・開催をお願いいたします！

Q：援助金はどのタイミングでもらえるの？お店の清算時があると助かるんだけど……

A：原則は開催後に報告をいただいてから振込いたします。人数が多くて立替払いがたい
へんな場合、複数のメンバーで分担するなど、工夫してくださいね。

Q：嬉しい制度なので何度でも申請したいのですが？

A：ありがたいことですが、同じメンバーでの申請は年間1回でお願いいたします。一部
メンバーが重複しているくらいでしたらOKです（念のためご相談ください）。

速報!

社会福祉士科通信課程は2018年度から修業年限を1年6か月に変更します。

9月に修了後、翌年の国家試験に向けて専念できます。

お知らせ

中央福祉専門学校は2019年度に開校30周年を迎えます。

同窓会としても記念事業を検討中、ご意見があればお寄せください！

2016年度卒業式 & 2017年度入学式が行われました。

【2016年度卒業生数】

介護福祉士科：63名 社会福祉士科夜間課程：45名 言語聴覚士科：21名 社会福祉士科通信課程：122名



【2017年度入学者数】

介護福祉士科：48名 社会福祉士科夜間課程：50名 言語聴覚士科：20名 社会福祉士科通信課程：102名



2017年度学生数 (2017年5月1日現在)

(単位：人)

学 科	入学定員	1 年生	2 年生	合計
介護福祉士科	100	52	59	111
社会福祉士科夜間課程	80	50	-	50
言語聴覚士科	40	20	29	49
合計	220	122	88	210
社会福祉士科通信課程	300	102	134	236

第29回社会福祉士国家試験結果 (現役合格者)

(全国)

学科	受験者数	合格者数	合格率(昨年度)
夜間課程	45	36	80.0% (84.0%)
通信課程	115	61	53.0% (67.3%)
合計	160	97	60.6% (72.4%)

受験者数	合格者数	合格率
45,849	11,828	25.8%

第19回言語聴覚士国家試験結果 (現役合格者)

(全国)

学科	受験者数	合格者数	合格率(昨年度)
言語聴覚士科	21	21	100% (80.0%)

受験者数	合格者数	合格率
2,571	1,951	75.9%

2017年度 専任教員体制

校 長 長岩 嘉文			
介護福祉士科		社会福祉士科夜間課程	
学科長 高木 直美	専任教員 板部美紀子	学科長 花井 文治	専任教員 繁澤 正彦
〃 宇田 厚子	〃 加藤 玲子	〃 渡辺 哲雄	
〃 彦坂 亮	〃 森 由香子		
ことばと聴こえの支援室「さくら」		村上 真知子	
社会福祉士科通信課程		言語聴覚士科	
学科長 長岩 嘉文	学科長 大岡 治恵	専任教員 池戸三奈穂	専任教員 井上ひとみ
	〃 國友 晴洋		

2018年度出願要項配布中！～同窓生検定料免除制度が好評です～

資料請求先：日本福祉大学中央福祉専門学校 TEL052(339)0200

<http://www.n-fukushi.ac.jp/chuo/> *ホームページからも資料請求ができます。

■2018年度全学科の入学試験の出願要項を配布中です。言語聴覚士・介護福祉士・社会福祉士をめざす職場の方や、お知り合いの方に、ぜひお勧めください。

■同窓生ご本人の受験や同窓生が紹介する方が受験する場合、20,000円の検定料（社士科通信課程のみ15,000円）免除の特典があります。詳細は資料をご請求ください。

オープンキャンパスも開催中！13：30～予約不要

■ 8月5日(土) ■ 8月19日(土) ■ 9月9日(土) ■ 10月7日(土)

■ 11月11日(土) ■ 1月13日(土) ■ 2月17日(土)* ■ 3月31日(土)

*2月17日は社会福祉士科・言語聴覚士科のみ開催、3月17日は介護福祉士科のみ開催。

Information

2017年度研究奨励論文を募集します(専門学校紀要にも掲載可能!!)

日々のお仕事や家事などが忙しいなかでも、蓄積された経験や考えをまとめてみたい。日頃の実践課題を研究として取り組み、自身の専門性を高めたい。そのような方々は、ぜひ研究奨励論文にご応募ください。「研究と言われると尻込みしちゃう」「論文の書き方が分からない」興味はあるけど足の足を踏んでしまう方は、事務局にご相談ください。参考資料として、最近の応募論文(毎年、9月の総会に先立つ発表の場で配布しています)をご覧ください。

応募者には奨励金が支給されるほか、中央福祉専門学校紀要(先生方の研究発表を中心とした冊子・PDFデータ)に掲載することも可能です。現場で日々努力を重ねる同窓生にとって、仲間の実践事例・考察は大いに刺激となるはずです!

個人の部	団体の部
①奨励金 20,000円	①奨励金 50,000円
②対象 同窓会会員	②対象 同窓会会員
③400字詰め原稿用紙5枚以上	③400字詰め原稿用紙10枚以上

【応募手続き】

■希望者は事務局まで申込用紙を請求し、2017年8月30日(水)までに提出してください。

申込用紙は同窓会ホームページからもダウンロードできます。

■同窓会総会で対象者を発表し、本人に通知いたします。

■論文は、2018年3月31日までに提出してください。

■研究論文は、2018年9月に「研究論文集」としてまとめ、同時期に開催する総会で発表の機会を設けます。また同窓会ホームページでも公開します。あわせて、直近の中央福祉専門学校紀要に掲載することも可能です(応募者の意向に沿います)。

*詳細については、同窓会事務局まで、お問い合わせください。

Eメールでお問い合わせいただいても結構です。

E-mail: dousou-chuo@ml.netnfu.ne.jp



専門学校紀要

♪福祉健康祭のご案内♪～みんなでホームカミング!

開催日：2017年8月5日(土)

開催時間：11:30～15:30 *同窓会特別講演会は10:30～11:30

場所：本校5階(メイン会場)、4階(福祉機器体験コーナー)2階(同窓会特別講演会)1階(同窓会提供"おもてなし"コーナー)

《企画内容》

- *同窓会はポップコーンや綿菓子の振る舞いで来場者におもてなし、特別講演会『教師として・アスリートとして』を主催!
- *恒例の介護体験コーナーや餅つき企画
- *好評のゲームコーナー：輪投げ、的当て、脳トレ
- *多彩な模擬店販売(軽食&お弁当、スイーツ、飲み物、クラフト雑貨)
- *ステージ企画：介護職員アイドルユニットFEN48ステージ、彦ニャン武将隊、南米音楽バンド・ティエラプランカライブ(同窓生参加)認知症予防"シナプソロジー"(同窓生実演)
- *オープンキャンパス同時開催

→同封のチラシもご参照ください

編集後記

今号も昨年に続いての10ページ。嬉しいのは、活発な同窓生の交流活動(同期会開催)に加え、研修企画の第2弾が実施され、そのレポート記事もお届けできたことです。同窓会は在学生(準会員)にも支援を行っていますが、やはり卒業後も様々なカタチで会員を支援していくことが大切な使命です。会員の皆様のご意見・ご要望が同窓会の取り組みを支えており、同窓会報は皆さんとの橋渡しに欠かせないツールとして、これからもその役割を担っていきます。また、9月の総会では、任期満了で新たな同窓会幹事・役員の皆さんが選出されます。これまでの活動を充実・活性化させながら同窓会と母校がともに発展していけるよう、連携協力関係を一層強めていきたいと思っております。